

# ねっとわーく

## 市町村のページ [シリーズ：公民館と子どもたち]

- ・ 0歳から100歳までみんなで支え合うまちづくり  
……………北九州市立中原市民センター
  - ・ 「アンビシャスのお兄ちゃんお姉ちゃんと遊ぼう！」  
……………古賀市・花見東1区自治公民館
  - ・ 広川町通学合宿 ………………広川町・行政区公民館
  - ・ ぼくは「桂川町住民センター」……………桂川町住民センター
- こちら県公連
- ・ 平成22年度福岡県公民館実践交流会の報告
  - ・ 平成22年度福岡県公民館地区別研修会－実施状況－

平成23年3月 公民館情報通巻119号

発行 福岡県公民館連合会

〒812-8575 福岡市博多区東公園7-7  
福岡県教育庁教育企画部社会教育課内  
TEL 092-643-3887 FAX 092-643-3889

## シリーズ：公民館と子どもたち



広川町通学合宿：広川町行政区の公民館

ホームページ



# 0歳から100歳までみんなで支え合うまちづくり

北九州市立中原市民センター

## 地域の概要

中原校区は、境川を境として小倉北区に隣接しており、JR鹿児島本線や国道199号線、都市高速道路、バス路線3本など交通機関、道路幹線網が東西に通じ、交通網に恵まれた位置にある。高層マンションが建ち並んではいるものの、昔からの家屋も多く、閑静な住宅地としての環境にあります。

## 子育てにやさしいまちづくり推進事業

今年度北九州市から子育て支援活動に事業費を応援する「子育てにやさしいまちづくり推進事業」を受け、平成13年に「0歳から100歳までの活動」の理念で立ち上げた「子育て支援ネットワーク中原」を中心に、子育てしやすいまち・地域づくりを目指し、ラジオ体操、講演会、さくらばるっ子フェスタ（23年3月27日実施予定）を計画しました。

## 夏休み みんなでするっちゃラジオ体操

毎年夏休みに中原校区4箇所の公園と中原八幡宮で、1週間ずつ持ち回りで開催するラジオ体操も今年で9年目を迎えました。ラジオ体操参加カード作りも趣向を凝らし、1枚ずつ手作りです。今年は7月21日から8月28日まで31日間、7時から7時20分に開催しました。0歳から96歳の高齢者まで、5会場で延人数1,745人の参加をみました。未就学児から小学校低学年の子どもが多く、第1体操と第2体操の間にする子どもスタッフによるゲームでは体を動かす楽しさを実感したようです。



ラジオ体操の合間に「じゃんけん列車」を楽しむ参加者



赤ちゃんもママの手にうっとり！

## 乳幼児期の親子を対象に

### 講座「ベビーマッサージ」

10月20日 10:30~12:00

講師 ウォーターパーク

代表 下郡久美子氏

### 講演会「みんなちがってみんないい」

11月10日 10:30~12:00

講師 夜の子ども相談室

代表 外松太恵子氏

託児をするスタッフも傾聴することができました。

問い合わせ先 中原市民センター 北九州市戸畑区中原東2丁目2-35

Tel/Fax 093-881-1038 E-mail: nb-cc@ktqc02.net

# 「アンビシャスのお兄ちゃんお姉ちゃんと遊ぼう！」

古賀市 花見東1区自治公民館

## 1. 地域と公民館の概要

花見東1区自治会公民館は、花見地区4つの自治公民館のうちの1つで、花見東1区約150名の子どもたちの健全育成を願って地域行事や学校との連携事業を行っています。

主な活動として、登下校のときの見守り活動やアンビシャス広場事業などがあります。

特に、卒業記念植樹を契機に始まった松原保全活動は、子どもたちを中心に大人も一緒に活動しながら地域の松原の大切さを学んでいます。

また、昨年度より花見小学校の芝生化を行い、子どもたちと地域の方々とで水やりや草取りをしながら芝生を守る活動をすすめているところです。

## 2. アンビシャス・青年リーダー養成事業との連携

2月12日(土)、花見東1区自治会公民館でアンビシャス・青年リーダー養成事業福岡地域研修会が行われました。

この取組は、アンビシャス青年リーダーにとっては、広場の子どもたちと実際に関わることでリーダーとしての資質の向上につながるものであり、公民館にとっても、地域の大人が関わりながら、子どもの居場所づくりになる取組です。また、その後の公民館と青年リーダーの日常的な連携につながるためのきっかけにしていきたいと考えました。

### (1) 地域の大人も一緒に学ぼう！

はじめに、NPO法人箱崎自由学舎えすぺらんさ代表の小田哲也さんに「ボランティアとしての関わり～子どもの自主性を育むために～」という内容でお話をいただきました。地域の大人の方にも参加いただき子どもと関わるための大切にしたい見つけ方考え方について研修できました。

### (2) 子どもたちと一緒に遊ぼう！！

つぎに、花見小学校のアンビシャス広場や学童保育所の子どもたちと青年リーダー、地域の大人の方々と一緒にレクリエーションをしたり、グループをつくってゲームをしたりして楽しみました。

参加者からは

「子どもと接することが何よりもよい。これからも積極的にふれあっていきたい」

「地域ぐるみで子どもを育てるといのは、とても素敵だと思います」

「青年リーダーとして、担当の公民館にときどき行ってみようと思います」

「もっと積極的に関わって、自分の可能性を広げていきたい」

というような意見をたくさんいただきました。



## 3. 地域ぐるみで一緒に子どもを育てよう！

花見東1区自治会公民館では、子どもたちの活動に関わってくれる地域の保護者や若者を求めています。無理せず、できるときにできる部分で関わっていただける方々の連絡をお待ちしています。関わってみたい！聞いてみたいという方のお問い合わせ先はこちらへ

花見東1区自治会公民館 古賀市花見東4丁目9番1号

電話 090-7445-2367(花見東1区自治公民館分館長 中村孝志)

八女郡広川町 行政区の公民館を会場に実施した、通学合宿

# 広川町通学合宿



## 《広川町の概要》

福岡県南部に位置し、東西約14km、南北約5.4km 面積37.9km<sup>2</sup>  
人口19,886 (H23.2.1現在)  
久留米餅や苺・ぶどう等の果樹、ガーベラや菊等の花卉及びお茶の栽培。また広川中核工業団地と久留米・広川新産業団地の2つの工業団地を持つ。

## 『自立する力をもった子どもの育成』

家庭をはなれ、自分たちで夕食や朝食を作ったり、掃除をしたりと集団生活を行いながら、小学校に通学する。その体験をとおして、「自主性」と「協調性」を高めていく。

公民館が自宅となり、子どもたちの活動を支える地域が保護者の役割をおこなって、コミュニケーションを深めていく。子どもと大人(地域住民)また地域住民同士が！

### 《実施方法》

会場：太田区公民館・川瀬区公民館  
逆瀬谷区公民館・鬼ノ瀧区公民館  
吉常区公民館

対象者：町内小学校区ごとの小学生

内容：各分館ごとに実施

参加費：6泊7日 3,000円と米5合  
3泊4日 2,500円と米5合

申込方法：6泊7日行政区で取りまとめ  
3泊4日学校で取りまとめ

その他：内容によっては指導者や地域ボランティアの支援をお願いする。

### 《活動内容》

集団下校→学習→買い出し→夕食の準備  
→夕食の後片付け→入浴→レクレーション→反省会→就寝→起床→布団上げ・掃除→朝食の準備→朝食の後片付け→登校準備→集団登校



## 《事業背景》

広川町には35行政区があり、その全てに自治公民館が完備され、会場として利用することが可能である。そのうえ、各行政区では区長さん、分館長さん等の役員さんが地域の取りまとめをおこなっているため企画、運営がスムーズに行なわれた。

そのうえ、地域には子どもたちの活動を支援してくれる、協力者及び支援団体があり、体験活動が容易にできた。

その他に、各小学校には、学校・家庭・地域連携推進会議があり側面からの支援が行なわれた。ある会場では、バス通学を楽しみに、通学合宿の会場を選ぶ子ども達や、仲のいい友達がいるからと会場を選ぶ子どもがいるが、旅行気分での参加とならないように、学校で事前指導を行なった。

また、地域によっては、その行政区の子どもだけを対象とした通学合宿が行なわれた。6泊7日の通学合宿に参加した子どもの感想文で「ぼくは、9月5日から11日まで通学合宿に参加した。みんなと最後まで参加できるかが1番心配でした。でも最後までみんなと一緒にやりとげることができて、とてもうれしいです。みんな、ぼくと遊んでくれてありがとう。」と、通学合宿をやり遂げ、目的に近づくことができた。

問合せ先 広川町教育委員会事務局 生涯学習係 TEL0943-32-0093

# ぼくは桂川町住民センターへ

ぼくの名は、「桂川町住民センター」。平成2年に旧公民館の老朽化により、『住民のふれあいと文化発心地として』をキャッチフレーズに誕生したんだ。今年成人式を迎えやっと大人の仲間入りかな？

ぼくのいる桂川町は、人口約14,300人、総面積20.07平方キロメートル。北西には飯塚市、南東には嘉麻市に隣接する嘉徳郡で1町の町なんだ。

ふれあい広場や舞台・動くイス付の大ホールを持ってるぼくのことを、たくさんの住民たちが使ってくれるけど、今回はぼくと子どもたちのことをすこし話そうと思う。

ぼくのところへ一番多く、定期的にやって来るのは、アンビシャス広場「夢・人・未来塾」の子どもたち。週2回の華道・茶道・料理・木工・陶芸・絵手紙などの塾や、夏休みには宿題や指導員の人達と色々な体験活動をやってるよ。そうそう去年の夏は国際交流でパキスタンから来た子ども達とソーメン流しをしたり炭鉾節を踊ったり楽しそうだったな……。

パキスタンの  
お友達と一緒に

成人式ではお茶  
のお手前披露



町内2つの小学校から集まった6年生がぼくのところに泊りながら学校へ行く、通学合宿も年2回やってるよ。これが大変なんだ。ボランティアの指導のもと、全部自分たちで協力して炊事や洗濯、掃除、もちろん学習もするんだ。土・日はボランティアの人たちと一緒にキャンプをしたり、山登りをしたりして1週間を過ごせば、違う小学校の子どもたちもみんな友達になってるよ。

冬になると町内2校の6年生全員が桂川町の「王塚太鼓」を習いにやってくる。クラスごとに練習し、発表会をするんだ。太鼓で強弱をつけるころや、みんなと合わせることに苦労していたようだったけど、発表会ではみんなよくがんばっていたね。

ぼくは、桂川町の子どもたちが、感動と感謝のこころを持ち、郷土を愛し、生きる力をつけてほしいと思っている。そのために、これからも子どもたちと一緒に楽しく笑い、遊び、学べる、体験の場を提供していきたいと思う。キャッチフレーズに負けないようにね

問合せ先：桂川町住民センター TEL 0948-65-2007 fax 0948-65-2117

# 平成22年度福岡県公民館実践交流会 — 報 告 —

平成22年度「福岡県公民館実践交流会」が平成23年2月3日（木）に、福岡県立社会教育総合センターにおいて開催しました。

今年度の参加者は726名（昨年度634名）で、例年を大幅に上回りました。大変喜ばしいことですが、開会行事や分散会場に入れなかったなどの課題が残りました。

本年度も合計16事例の実践発表と活発な質疑応答や意見交換、情報交流が行われ、盛会の内に終了することができました。

開会行事（満員の会場）



事例発表（体育館）



事例発表（大研修室）



事例発表（視聴覚室）



事例発表（講堂）



なお、実践発表の内容については、「公民館福岡」に掲載しています。

## アンケート集計結果

- アンケート提出者：256人（回収率37.1%）
- 公民館活動に関わって何年ですか
  - 1年：64人（25%）      4年：34人（13%）
  - 2年：30人（12%）      5年以上：68人（27%）
  - 3年：37人（14%）      無回答：23人（9%）

### 1 実践発表の数はどうですか

適 当：194人（75.8%）      多 い：47人（18.3%）  
少 ない：2人（0.8%）      無回答：13人（5.1%）

### 2 プログラムの時間配分はどうですか

#### ① 実践発表

適 当：204人（79.7%）      長 い：6人（2.3%）  
短 い：42人（16.4%）      無回答：4人（1.6%）

#### ② 質疑応答

適 当：185人（72.3%）      長 い：20人（7.8%）  
短 い：27人（10.5%）      無回答：24人（9.4%）

### 3 今回、参加してどうでしたか

大変参考になった：71（27.7%）      参考になった：171人（66.8%）  
あまり参考にならなかった：11人（4.3%）      参考にならなかった：0人（0%）  
無回答：3人（1.2%）

### 4 分科会の会場について

1つの施設で良い：185（72.3%）  
2つの施設に分散する：39（15.2%）  
その他：17（6.6%）  
無記入：15（5.9%）



## 5 内容についての意見・要望

- ・公民館を中心とした地域・地域団体・学校等の連携の活動発表は、特色があり参考になった。
- ・実践事例が似通っていた。
- ・今回は、全体的に、子どもに係る発表が多かった。
- ・実践発表の時間はもう少し長くとり具体的な内容まで触れてほしい。
- ・今回は個性的な活動内容発表が多く、興味深く聞くことができた。
- ・事例発表も身近なものが多く、非常によかった。また質問も多く活発で良かった。
- ・発表内容のレベルの高さに驚きました。
- ・発表のテーマに偏りがあったので、発表事例の選択を考えてほしい。
- ・実践発表は非常に参考になった。公民館長のリーダーシップと意識の高さを感じた。
- ・新しい取り組みや工夫がもっと見えるような発表をしてほしい。
- ・発表者がしっかり関わった事例の発表にすべき。
- ・子どもたちについての内容が多くあったが今の子どもたちの現状や親たちの現状を飛びこえての話が多かった。

## 6 会場についての感想・要望

- ・講堂は非常に寒い。(前回も)
- ・開催場所を変えてほしい。
- ・参加者が増えるのは良いが、立ち見が出るのは、問題。参加人数を制約する必要があるのでは。
- ・視聴覚室が狭くて入りづらかった。
- ・午前中講堂が寒く、余裕を持って話を聞くことができなかった。
- ・開会行事に参加できなかったことが残念です。
- ・参加者が多く参加したい分科会に入れなかった。
- ・会場ではメモがとれるよう配慮してほしい。
- ・参加者が多く分科会会場は満席となり、今後検討の必要あり。年2回実施や、2地区での開催はどうか。
- ・全体会会場に参加者全員がはいれるような施設が準備できないものでしょうか？

## 7 プログラムについての感想等

- ・実践発表の時間が短く発表の中身がすこし雑だった。
- ・通学合宿や夏休みの宿泊体験などのテーマが多かったので、幅広いテーマを取り上げてほしい。
- ・一こま40分は短いような気がする。
- ・実践発表の数が多すぎると思う。よく似た発表も多かった。
- ・ステージでの基調講演や1つのテーマに対する複数公民館のディスカッションなどもあるといい。
- ・発表内容を深める基調講演をしてほしい。
- ・全ての実践発表を拝聴したい。御検討をお願いしたい。
- ・開会式後から実践発表開始までの時間短縮。

- ・男女共同参画の視点での事業について活動しているところの発表があるとよかった。
- ・会場を自治公民館関係、公立公民館関係の発表にわけてもらいたい。

## 8 その他感想・要望

- ・発表がバラエティにとんでいたもので、とてもわくわく聞かせてもらえた。
- ・発表のジャンルも多様で自身の活動を振り返ることができた。
- ・聞きたい内容のものが多く全部回れず、残念でした。
- ・人数が多くて疲れた。
- ・参加できる分科会が選べたので良かった。
- ・分科会の終了時刻は守ってほしい。
- ・企画するのは簡単ですが、それを実行して継続する大変さや喜びなど生の声が聞けて良かった。
- ・小さな文字ばかりのパワーポイントは見にくかった。
- ・福岡市の公民館と他の市町村の公民館ではシステムが違うので、別開催にしてほしい。
- ・年2回の開催にし、議論する時間が欲しい。
- ・事前に分科会の希望を調査して、ある程度の人数を把握してそれに見合った会場を準備してほしい。
- ・昼休みが長すぎる。
- ・資料の字が小さい。
- ・インフルエンザ流行の時期をさけてほしい。

## 平成22年度福岡県公民館地区別研修会 － 実 施 状 況 －

各地区の主体的な研修内容と併せて、県公連の活動や公民館を取り巻く状況等の周知を図る研修を県内8地区で実施しました。

地区名	期 日	会 場	参加者数	主 な 内 容
北九州市	2月9日	ウエルとばた (北九州市)	380	○講演 「トラブル解決のためのコミュニケーション」 ○事例発表 1 みんなで作る「子ども納涼夏まつり」～地域と学校との連携による参加型イベントの開催～ 桜丘市民センター 2 子育て仲間の輪を広げて、みんなで楽しく子育てしましょう！ 企救丘市民センター 3 そばづくり体験塾？ 修多羅市民センター 4 ボランティアで元気！！～地域のつながりを大切に～

				<p style="text-align: right;">則松市民センター</p> <input type="checkbox"/> 講評 <input type="checkbox"/> 県公連報告—県公連の事業報告
福岡市	10月25日	婦人会館	150	<input type="checkbox"/> 公民館における個人情報保護 総務企画局情報公開室係長 <input type="checkbox"/> 公民館倫理 総務企画局人事課主査 <input type="checkbox"/> 公民館に期待するもの 市民局公民館支援課長 <input type="checkbox"/> コミュニティ推進部長まとめ <input type="checkbox"/> 県公連報告—県公連の事業報告
福岡地区	2月19日	伊都文化会館	219	<input type="checkbox"/> 大会テーマ 「公民館を核としたコミュニティづくり」 <input type="checkbox"/> 講演 「公民館を核としたコミュニティづくり」 講師：福岡市NPO・ボランティア交流センター長 十時 裕 氏 <input type="checkbox"/> 分科会（活動報告）（4事例） <第1分科会> 南の風大学について 南郷地区コミュニティ運営協議会 <第2分科会> 小地区公民館を拠点とした公民館活動とまちづくり 美しが丘北公民館 <第3分科会> 「今後の古賀市中央公民館の運営のあり方について」の答申に向けた取組み～古賀市公民館運営審議会からの発信～ 古賀市公民館運営審議会 <第4分科会> 地域と連携した公民館事業～小どもの健全育成への取り組み事例 糸島市立桜野公民館 <input type="checkbox"/> 県公連報告—県公連の事業報告
北九州地区	1月26日	遠賀コミュニティセンター	37	<input type="checkbox"/> 研修テーマ 「地域づくり人づくりと公民館の役割」 <input type="checkbox"/> 基調講演 「まちづくり・ひとづくり」 講師：NPO法人みんなのくらしターミナル代表理事 初鹿野 聡 氏 <input type="checkbox"/> 事例発表 ・公民館で子ども達の「自学・自習の力」を～土曜学び合いルームの取り組みを中心に～ (芦屋町)

				<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に活動する子どもを育てる中子連の取り組み（中間市）</li> <li>○まとめ</li> <li>□県公連報告—県公連の事業報告</li> </ul>
北筑後地区	10月26日	東峰村保健福祉センター「いずみ館」	123	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究主題 「誰かが変えてくれるのを待つより私が変える地域活動」</li> <li>○講演 「今、社会に求められる地域コミュニティー」 講師：北九州市立大学非常勤講師 山下 厚保生 氏</li> <li>○東峰村現地視察研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小石原地区コース</li> <li>・宝珠山地区コース</li> </ul> </li> <li>○実践発表 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本棚田百選 竹地区棚田景観保全委員会</li> <li>・地域文化の伝承 小石原千灯明実行委員会</li> </ul> </li> <li>□県公連報告—県公連の事業報告</li> </ul>
南筑後地区	12月2日	大牟田市エコサシクセンター	98	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究テーマ 「地域活性化と公民館の役割」</li> <li>○講演 「情熱と感動で動く自治公民館」 講師：鹿児島県鹿屋市 柳谷自治公民館長 豊重 哲郎 氏</li> <li>□県公連報告—県公連の事業報告</li> </ul>
筑豊地区	11月17日	飯塚市庄内公民館	66	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実践発表 「庄内中学校と生涯学習ボランティア」 飯塚市立庄内中学校</li> <li>○講演 「地域みんなで支える学校—学社連携の理論と実践—」 講師：生涯学習・社会教育システム研究者 三浦清一郎 氏</li> <li>□県公連報告—県公連の事業報告</li> </ul>
京築地区	1月20日	築上町築城公民館	80	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究主題 「公民館として子どもの育ちのために」</li> <li>○事例発表 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「公民館まつりin子どもフェスタ (みやこ町)」</li> <li>・「公民館講座を受講して」 (苅田町)</li> </ul> </li> <li>○講演 「子どもの豊かな育ちのために」 講師：夕日のミュージアム名誉館長 若松 進一 氏</li> <li>□県公連報告—県公連の事業報告</li> </ul>
計			1,153	